

2025年1月17日

各位

ケイティケイ株式会社
(コード番号:3035 東証スタンダード・名証メイン)

ケイティケイ株式会社、株式会社ディエスジャパン、原貿易株式会社の三社で カーボンニュートラルの推進等に関する連携協定を締結

ケイティケイ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:青山英生、以下「ケイティケイ」)、株式会社ディエスジャパン(本社:大阪府東大阪市、代表取締役:北條陽子、以下「ディエスジャパン」)および原貿易株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役:江守雅人、以下「原貿易」)の三社は、持続可能な循環型社会の実現を目指し、2025年1月17日にカーボンニュートラル推進のための連携協定(以下「本協定」)を締結しましたので、お知らせいたします。



(締結式の様子/写真左から、原貿易代表取締役 江守雅人様、ディエスジャパン代表取締役 北條陽子様、当社代表取締役 青山英生)

■ 連携協定の概要・目的

《目的》

三社は、リユースナーカートリッジを活用した脱炭素及びカーボンニュートラルの推進、サーキュラーエコノミーの推進に関連する活動においての情報共有や意見交換に努め、協働して取り組む他、取引先をはじめとするステークホルダーに対し、普及啓発活動及び支援等を行い、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを目的とします。

《連携事項》

本協定に基づき、三社は以下の活動において連携・協力します。

- ・ 脱炭素及びカーボンニュートラルの推進に関する事項
- ・ サーキュラーエコノミーの推進に関する事項
- ・ リユースナーカートリッジをサステナブルな製品と位置付けた、廃棄物の削減、リユースの推進に関する事項
- ・ その他環境貢献等に関して、三社で協議の上、別途合意した事項

News Release

■ 背景

サーキュラーエコノミーの視点からの脱炭素

近年、脱炭素及びカーボンニュートラルの取り組みは、地球温暖化対策の一環として急速に進展しています。また、資源の循環利用を重視し廃棄物を最小限に抑えることを目指すサーキュラーエコノミーにも、欧州をはじめ多くの国や組織が取り組み始めています。

脱炭素及びカーボンニュートラルの実現には、エネルギーの消費を減らし、環境への負荷軽減が期待できる、リユースなど資源の効率的な利用を促すサーキュラーエコノミーの視点が重要といえます。

プラスチックの再生利用率は約 21%～、何度も再利用するリユーストナーは CO2 削減に貢献

一般社団法人プラスチック循環利用協会(※1)によると、2022 年の廃プラスチック総排出量は 823 万トンでした。そのうち、再生利用(マテリアルリサイクル)されたものは 180 万トンで、再生利用率は約 21%です。また、ケミカルリサイクル(※2)が 28 万トン、サーマルリサイクル(※3)が 510 万トンで、合計すると有効利用量は 717 万トン(有効利用率約 87%)となります。

ただ、これらのリサイクル工程でも CO2 が排出されます。特に、サーマルリサイクルは燃焼時に多くの CO2 を排出するため、環境への負荷が大きい点が課題です。サーキュラーエコノミーの観点では、廃プラスチック自体を減らすことが重要な取り組みとなります。

リユーストナーは、使用済みトナーカートリッジを回収し、必要な部材だけを交換しトナーを充填することで繰り返し使用を可能とする製品であり、廃プラスチック削減に貢献し、サーキュラーエコノミーや脱炭素及びカーボンニュートラルに資するものです。

※1 一般社団法人プラスチック循環利用協会「プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況 2023 年 12 月発行」より

※2 廃プラスチックを分解油や合成ガス、モノマーといった化学原料に戻して再利用すること

※3 廃棄物を焼却する際に発生する熱エネルギーを回収し、再利用すること

リユーストナーを脱炭素に貢献する製品として再定義、確実に回収する仕組みの確立を目指す

リユーストナーは CO2 排出量削減に貢献する製品です。しかし、これまでは安価である点が主に評価され、環境負荷軽減につながる製品という価値を十分に訴求することができていません。

また、リユーストナーを利用していても、回収されず廃棄されてしまう事例もあることから、リユーストナーによるサーキュラーエコノミーを実現するためには、使用済みトナーカートリッジの確実な回収システムを確立することが必要です。

■ 今後の活動方針

今回、三社が連携することで、リユーストナーの環境価値を広く社会に普及・啓発するほか、業界全体でトナーカートリッジ回収の課題解決に向けた仕組みづくりを推進する協力体制を構築し、リユーストナーの価値向上に努めてまいります。

News Release

■ 各社コメント

ケイティケイ株式会社 代表取締役 青山英生コメント



ケイティケイは、オフィスの未来を変えることを目指す“Change the office mirai”をグループビジョンとして掲げ、リユーストナーをはじめ、OA サプライ、DX 支援の IT ソリューション等、豊富な商品・サービスを幅広く提供し、今年で創業 54 周年を迎えます。

この度の連携協定締結を大変嬉しく思うとともに、この協働により、持続可能な循環型社会の実現に向けた取り組みが強固に推し進められていくものと確信しております。今後は、製造直販の強みを活かした独自の顧客参画型システム『サステナブルパートナープログラム』の一層の浸透を図り、トナーカートリッジの完全回収を実現することで、サステナビリティの推進に取り組んでまいります。

株式会社ディエスジャパン 代表取締役 北條陽子コメント



ディエスジャパングループは、1985 年の創業当初より「共生社会の実現」を経営理念として掲げ、これまで全国約 64,200 社以上の企業に対し、自社グループで製造した国内生産の高品質で安全なリユーストナーを中心としたオフィス環境改善の提案を行ってまいりました。

これまでリユーストナーは、その「安価さ」が注目されることが多かったですが、今回の連携を契機に、リユーストナーが脱炭素社会の実現に貢献する製品であることを積極的に広報してまいります。また、ディエスジャパンは、自社工場を保有するという強みと広範な販売ネットワークを活かし、当社製以外のトナーカートリッジの回収率向上にも貢献していく所存です。

原貿易株式会社 代表取締役 江守雅人コメント



設立 70 周年を迎える原貿易は、パーパス『人と環境に優しい価値ある情報と商品を提供する』を掲げ、ESG 推進に全従業員で取り組んでいます。トナーカートリッジを再利用するための部材のほか、技術サポートや試験方法のトレーニングを提供し、トナーカートリッジの再利用促進や業界の発展を長きにわたり支えてまいりました。地域と業界貢献のためにも神奈川県や横浜市、中小企業、金融機関、大学などでサステナビリティ経営について講演するなど、リユーストナーが脱炭素に貢献する製品であることの情報発信にも努めてきました。連携する二社は、脱炭素及びカーボンニュートラルの推進をはじめ、サステナビリティ経営を重視している先進的な企業です。この連携を通じ、リユーストナーの価値向上を目指した普及啓発活動により一層取り組み、微力ながら、業界への貢献及び連携する二社の活動の支援にも努めてまいります。

News Release

■ ケイティケイ株式会社の取り組み

- トナーカートリッジをマネジメントする『サステナブルパートナープログラム』を開発
(ビジネスモデル特許出願中)



ケイティケイは、お客様とともにサーキュラーエコノミーに貢献する新たな顧客参画型のプログラムとして『サステナブルパートナープログラム』を展開しています。

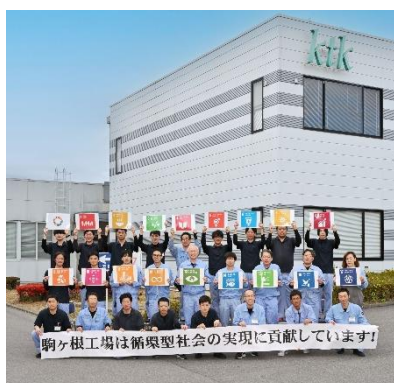
QR コードを活用したトレーサビリティを実現し、顧客毎にリユーストナー利用による環境貢献(実質 CO2・廃プラスチック削減量)を数値でご確認いただけます。また、このプログラムに参画いただくことにより、自動在庫補充や使用済みカートリッジご返却手続きの簡素化も可能となります。

私たちは当プログラムを広く普及させることで、お客様とともに、使用済みカートリッジの完全回収及び資源の有効活用を目指します。

- ・『サステナブルパートナープログラム』について

<https://www.yoridori.jp/sf/spp>

- ケイティケイの製造直販の強み ～駒ヶ根工場が取り組む「3つのこだわり」～



ケイティケイのリユーストナー製品『リパクトナー』は、長野県駒ヶ根市の自社工場で一つひとつ丁寧に生産しています。徹底管理された製造工程により、安定した高品質な製品をお届けします。

環境への貢献

- ・太陽光発電を用いた生産活動など、資源の有効活用を意識した取り組みにより「長野県 SDGs 推進企業」として認定

ダイバーシティの推進

- ・障がい者雇用や近隣福祉施設との連携を推進し、ともに成長できる環境づくりを実現

廃棄物を出さないゼロエミッションの達成

- ・寿命や破損で再生できない部品も再資源化

- ・ケイティケイの循環型社会への貢献

<https://www.ktk.gr.jp/business/>

- サステナビリティ情報を発信する web メディア『EARTH NOTE(アースノート)』を運営



EARTH NOTE

- ・『EARTH NOTE(アースノート)』

<https://www.yoridori.jp/earth-note/>

- ・ケイティケイのサステナビリティの取り組み

<https://www.ktk.gr.jp/sustainability/>

News Release

■ 各社の概要

ケイティケイ株式会社について

ktk ケイティケイ 株式会社

本社所在地：愛知県名古屋市東区泉 2-3-3

代表者：代表取締役 青山英生

設立：1971年6月29日

事業内容：リユーストナーをはじめとしたプリンター消耗品の製造販売、DX 推進のための IT ソリューション提案、OA サプライ商品の販売

公式サイト：<https://www.ktk.gr.jp/>

株式会社ディエスジャパンについて

DSJ ディエスジャパン

本社所在地：大阪府東大阪市吉田本町 3-3-45

代表者：代表取締役 北條陽子

設立：1985年5月1日

事業内容：トナーカートリッジ・インクリボン・BJインク・PPCTナー・磁気製品・PPC用紙・専用紙・各種プリンター・複合機・LED 照明・エアコン・パソコン・周辺機器全般の販売、パソコンリサイクルならびにデータ消去業務・プリンター修理

公式サイト：<https://www.dsj.co.jp/>

原貿易株式会社について



原貿易株式会社

本社所在地：神奈川県横浜市神奈川区松本町 4-33-1

代表者：代表取締役 江守雅人

設立：1955年7月16日

事業内容：機能部材・資材関連事業(トナーカートリッジの再生用イメージング部材、リユーストナーカートリッジ、フィルター用メッシュ織物、静電気対策製品、サステナブル商材の販売)、繊維・生活関連事業(ベビー&キッズ用品・ギア、繊維・アパレル製品、生活雑貨などの企画・生産・販売、インポート製品の販売代理、ライセンスビジネス、サステナブル商材の販売)

公式サイト：<https://www.harabo.co.jp/>



お問い合わせ先 総務部 プレスリリース担当

TEL:052-934-2260 FAX:052-932-5459

E-Mail:ir@ktk.gr.jp

URL:<https://www.ktk.gr.jp/>

X 公式アカウント：@ktk_ir



見やすいユニバーサルデザインフォントを使用しています